

村上市市民憲章素案の解説

	村上市市民憲章（素案）	基本的な考え方
前 文	若葉薫る木々 清らかなせせらぎ 稲穂わたる風 夕日きらめく波 私たちのふるさととは、自然に恵まれた美しいまちです 人々は、豊かな心と文化を育みながら、歴史を重ねてきました 私たちは、市民であることに誇りを持ち、誰もが輝ける明日に向けて ここに市民憲章を定めます	➤美しい村上市の風景 前文冒頭の部分は、村上市の素晴らしい風景（山、川、田、海）について、一人ひとりが身近なふるさととの情景を思い描けるように表現しています。また、深い山々の森から平野を潤し海へ注ぐという水の流れを表しながら、村上市の雄大な広がりと言と命の循環をイメージしています。 ➤先人への感謝そして郷土を愛する心 美しくも厳しい自然の中で、私たちの先人は、支え合う心を大切にしながら地域を守ってきました。こうした人々の心の絆は、祭りや伝統行事などの独自の文化や産業を生み育て、この村上市を築いてきました。その先人への感謝と敬意、そしてかけがえのないふるさとへの愛を「市民であることに誇りを持つ」という言葉に込めました。一人ひとりの市民が誇りを胸にお互いを認め合い、希望を持ちながら未来の村上市を築いていくというテーマが込められています。
唱 和 文	はぐくもう 愛と思いやりのこころを つくろう 創意に満ちた明るい未来を ひろげよう 伝統と文化、学びのすばらしさを 私たちは、元気あふれるまちを目指します	➤唱和しやすくわかりやすいこと 唱和文は、子どもから大人までが唱和しやすく、シンプルでわかりやすいことに配慮しました。また、倒置法の使用により、これまでにない新鮮さを演出しています。 はぐくもう～ 私たちのまちをつくるのは市民です。互いに支え合い、思いやりの心を育て、家族や地域、郷土への愛を育んでいくことの大切さを表現しています。 つくろう～ 工夫や発想、研究や努力を重ね、意欲を持ってものを作り出すことは、産業や地域活動などあらゆる分野に共通する姿勢です。誰もが希望に満ちた村上市の未来を創り出すために、努力しようということを表現しています。 ひろげよう～ 村上市独自の伝統行事や文化などを守りながら、その素晴らしさを伝え、発信していくこと、また、学びによって深く理解し、人として力を高めていくことの素晴らしさを表現しています。 「はぐくみ」、「つくり」、「ひろげる」の 3 つのキーワードで表す指針を受けて、市民が目指すものは、「元気あふれるまち」であり、ふるさと村上市が自然と調和がとれた、活気あふれるすばらしいまちとなるという願いが込められています。最後の一行は、唱和のしやすさや一連の文章としてのまとまり良さを考え、倒置法を使用せず、言い切る形としています。